

第3章 総合防除普及推進の実践方法

総合防除普及推進のヒント

■ このような流れで紹介していきます。



問題を探る！

農家へのヒアリングのポイント

- ・ヒアリングの始め方
- ・防除技術導入判断の進め方

総合防除技術を適切に提案するには、まず現状の問題を正しく把握することが重要です。そのための手段として、農家へのヒアリングのポイントを紹介します。



提案する！

総合防除のメリット

総合防除は大切とは分かっていても、その必要性について説明するのは難しいです。
ここでは、総合防除のメリットを改めて紹介します。



仲間と組む！

連携体制の構築

総合防除の実践と普及には他機関との連携が不可欠です。
どのような連携方法がよいでしょうか。そのヒントを説明します。



ポイントを知る！

普及のポイント

全国の普及員が考える普及のポイントを紹介します。

(参考) アンケート調査の実施概要

- 本マニュアルの作成にあたっては、全国の普及指導員の皆様にアンケート調査を実施しました。
- 本章では、当該アンケート調査の結果についても紹介します。実施概要は以下のとおりです。

実施概要

目的	<u>総合防除における実践技術やその普及状況の実態把握、普及のポイントや課題等を整理するために実施</u>
対象	<u>全国の普及指導員。回答数は444件</u>
期間	<u>2024年11月～12月</u>
備考	<u>回答は任意。組織としての正式な見解ではなく、個人としての知見や所感を回答</u>

※紹介ページ

P：80	アンケート結果①	総合防除のメリット
P：84	アンケート結果②	総合防除普及の際に連携した組織
P：85	アンケート結果③	総合防除の普及推進のポイント

総合防除普及におけるヒアリングの始め方

- 総合防除の普及を行う際は、当該技術の導入ありきではなく、農家が抱える問題を起点に導入を検討しましょう。

❌ このように進めていませんか？



総合防除に資する、この病害虫に良い防除技術があるのですが、使ってみませんか？

興味はあります



それでは資材を持って伺いますね！

…とりあえずやってみます！



結局、効果や経済性が分からず
取組は継続しないことが多い

🕒 問題起点で進めてみましょう！



栽培で何かお困りのことはありませんか？

あります。原因がわからないのですが、収量が減少しているんです



これは〇〇病害虫が原因だと思いますよ。
対策について考えてみませんか？

はい！ぜひなんとかしたいです！



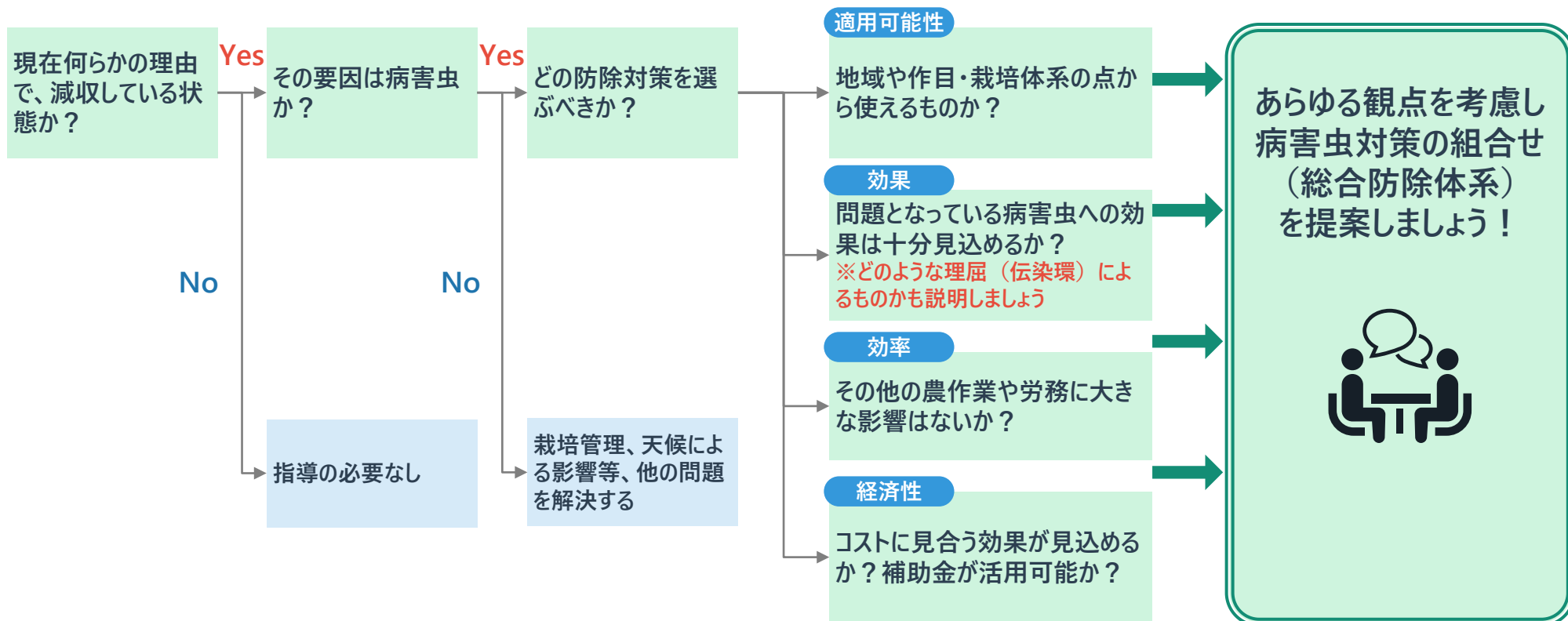
あらゆる観点で対策の導入を検討
(次スライドを参照)

※既に、減収の問題が当該病害虫であることが特定されており、有効な防除であることが確かであれば問題ありません

総合防除普及における防除技術導入判断の進め方

- まずは問題の特定から行い、総合的な視点で、最適な防除対策またはその組み合わせを提案しましょう。

技術導入判断のフローチャート例



総合防除のメリット

- 環境負荷低減を目的として、総合防除を提案していませんか？



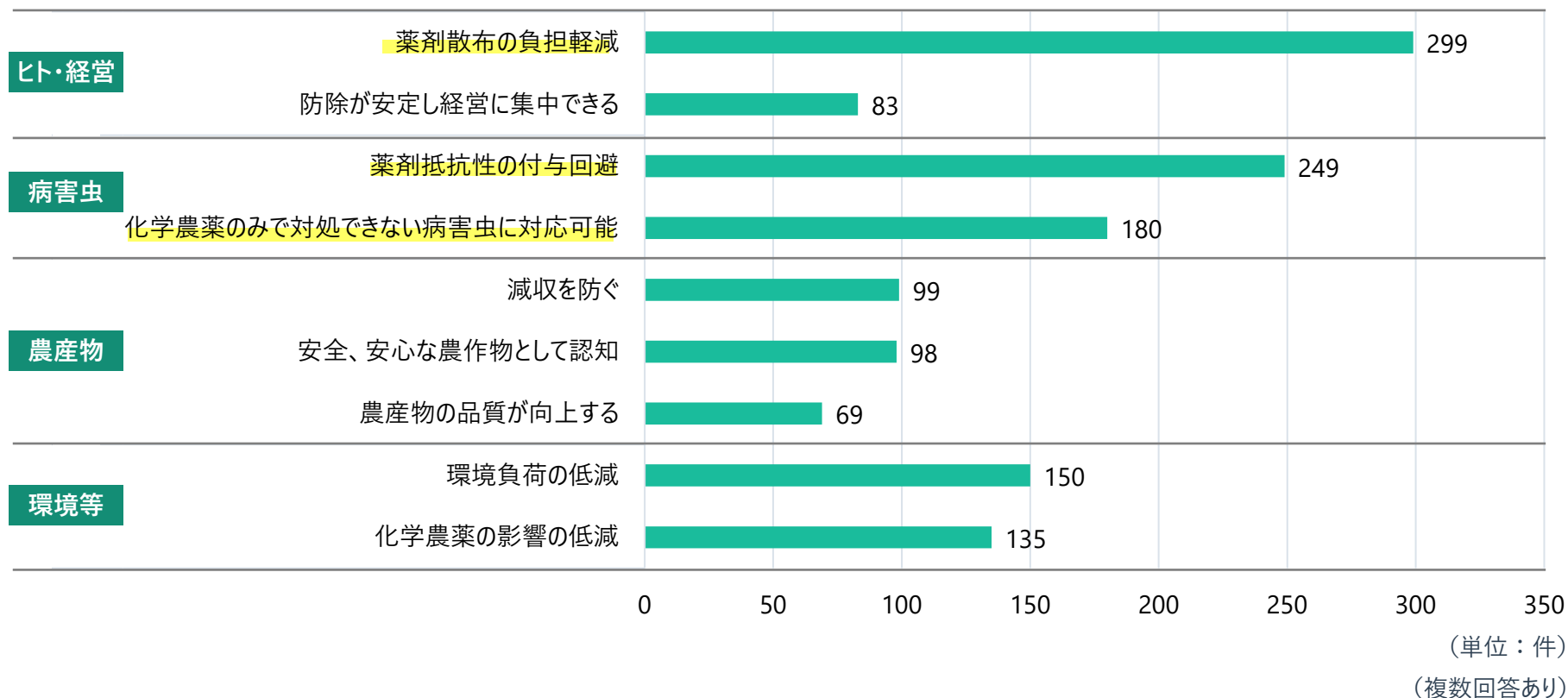
総合防除とは、天敵を使って環境負荷を小さくすることが目的ですね？

いいえ、環境負荷の低減も大切ですが、それだけが総合防除の目的ではありません。
実際に、多くの方がさまざまなメリットを感じています。

総合防除のメリット

- 実際に総合防除の指導に関わる普及指導員は、多くのメリットを挙げています。

総合防除のメリット



総合防除のメリット

■ 実際に、農家の皆様からも多くの意見が聞かれました。



総合防除の実践で病害虫が発生しなくなったことにより、精神的な負担が少なくなり、栽培管理や経営に集中できるようになりました。（静岡県農家）



総合防除を取り入れたことにより、従業員の薬剤散布の負担が少くなりました。総合防除は人材確保のためにもなると思います。（埼玉県農家）

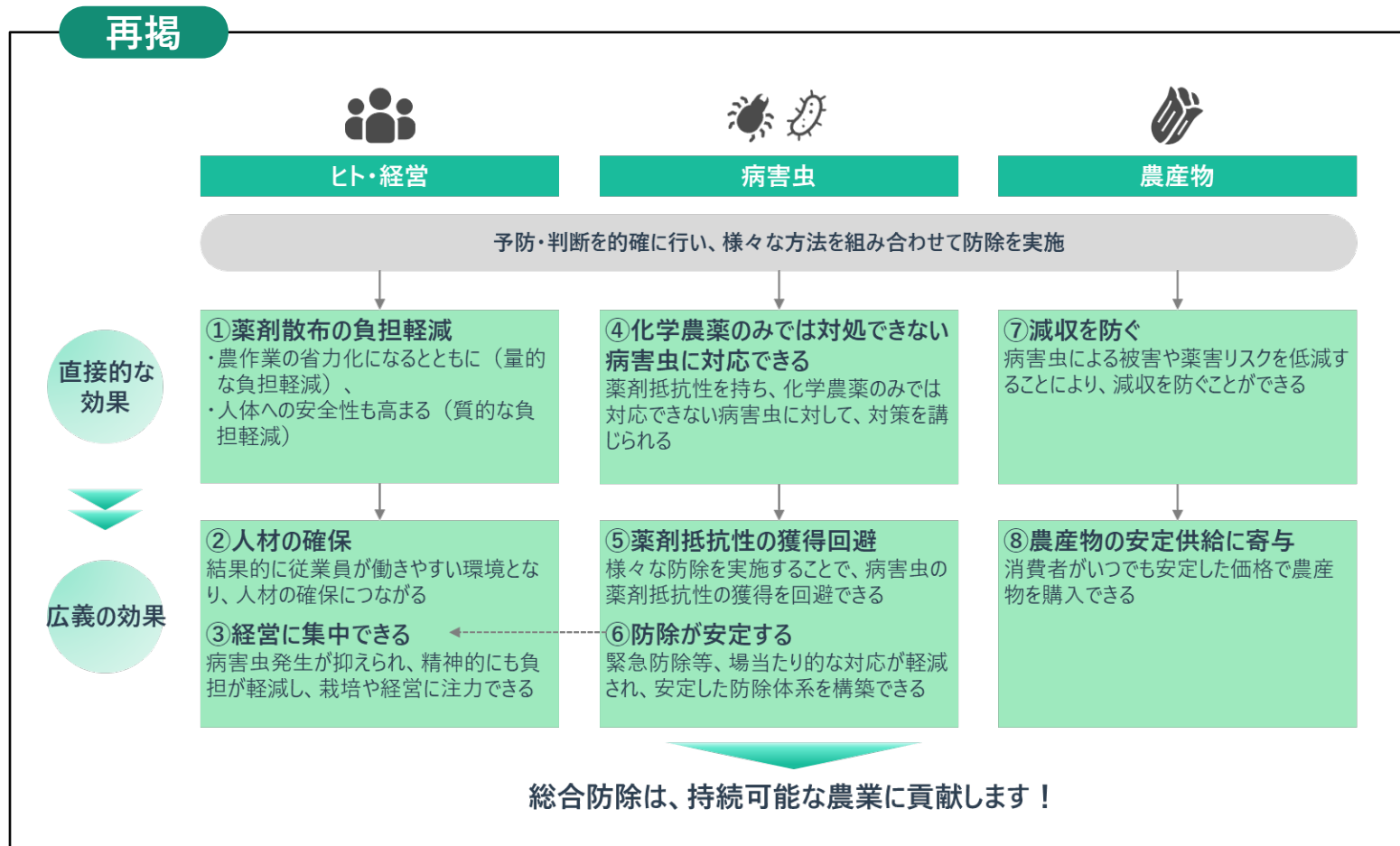


総合防除を取り入れたことにより、突発的な対応がなくなり、栽培が安定しました。（福島県農家）



イチゴの物理的防除を取り入れました。観光農園を営んでいるため、来園者に優しい防除技術は引き続き利用していきたいとします。（静岡県農家）

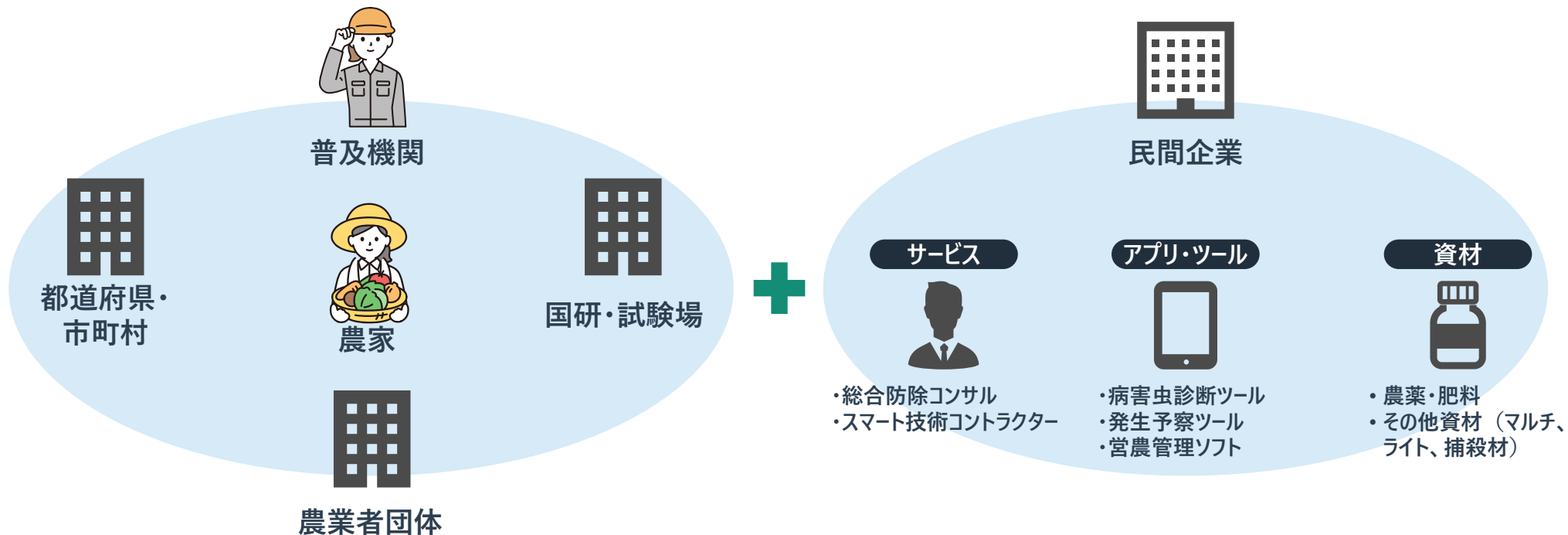
総合防除のメリット



総合防除技術の導入を提案する際は、様々なメリットがあることもしっかり伝えましょう！

連携体制の構築

- 普及機関を核とし、市町村、試験場、農業者団体と連携するのはもちろんのこと、民間企業の技術やサービスともうまく連携してみましょう。



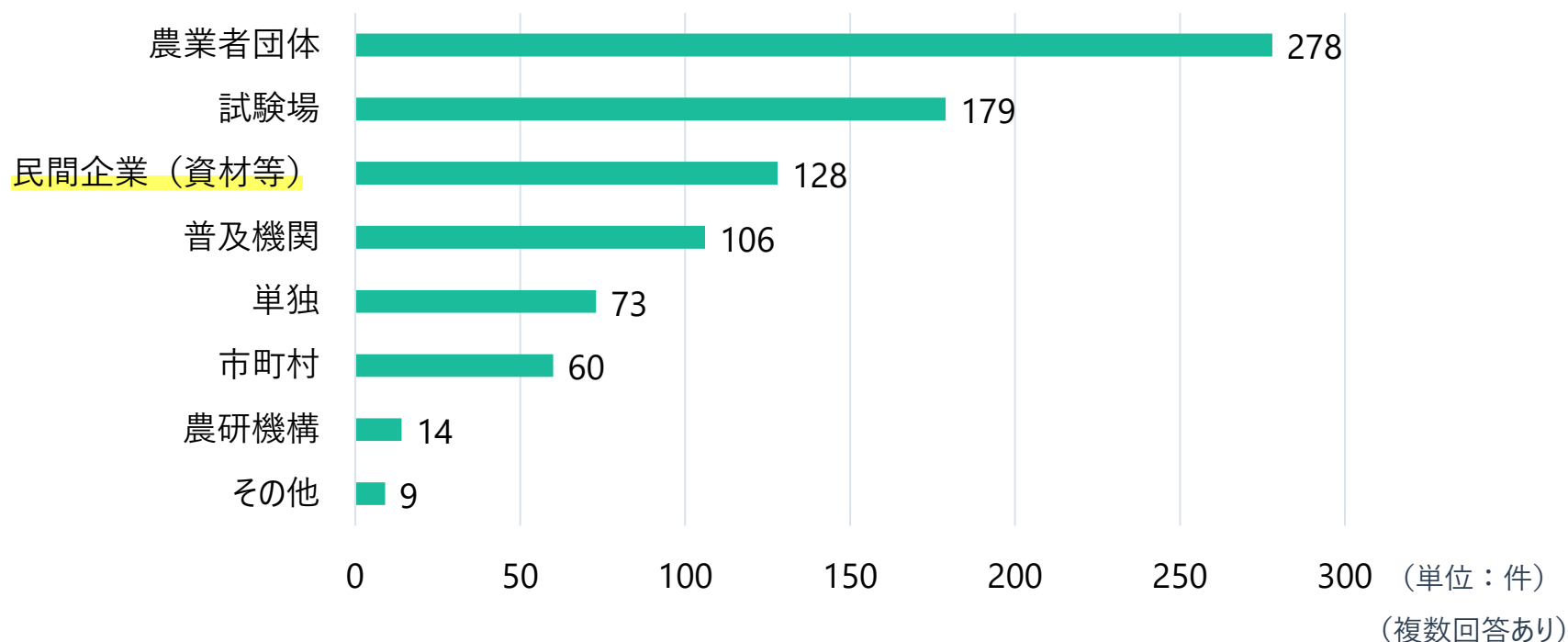
普及推進には、試験場やJAとの連携は
いうまでもなく重要ですが、

最近では多くの民間企業も関連技術・サービスを
展開しています。連携を検討してみましょう

連携体制の構築

- 総合防除の普及推進に、単独で取り組んだ例は少なく、農業者団体、試験場、民間企業等と連携して取り組んでいます。

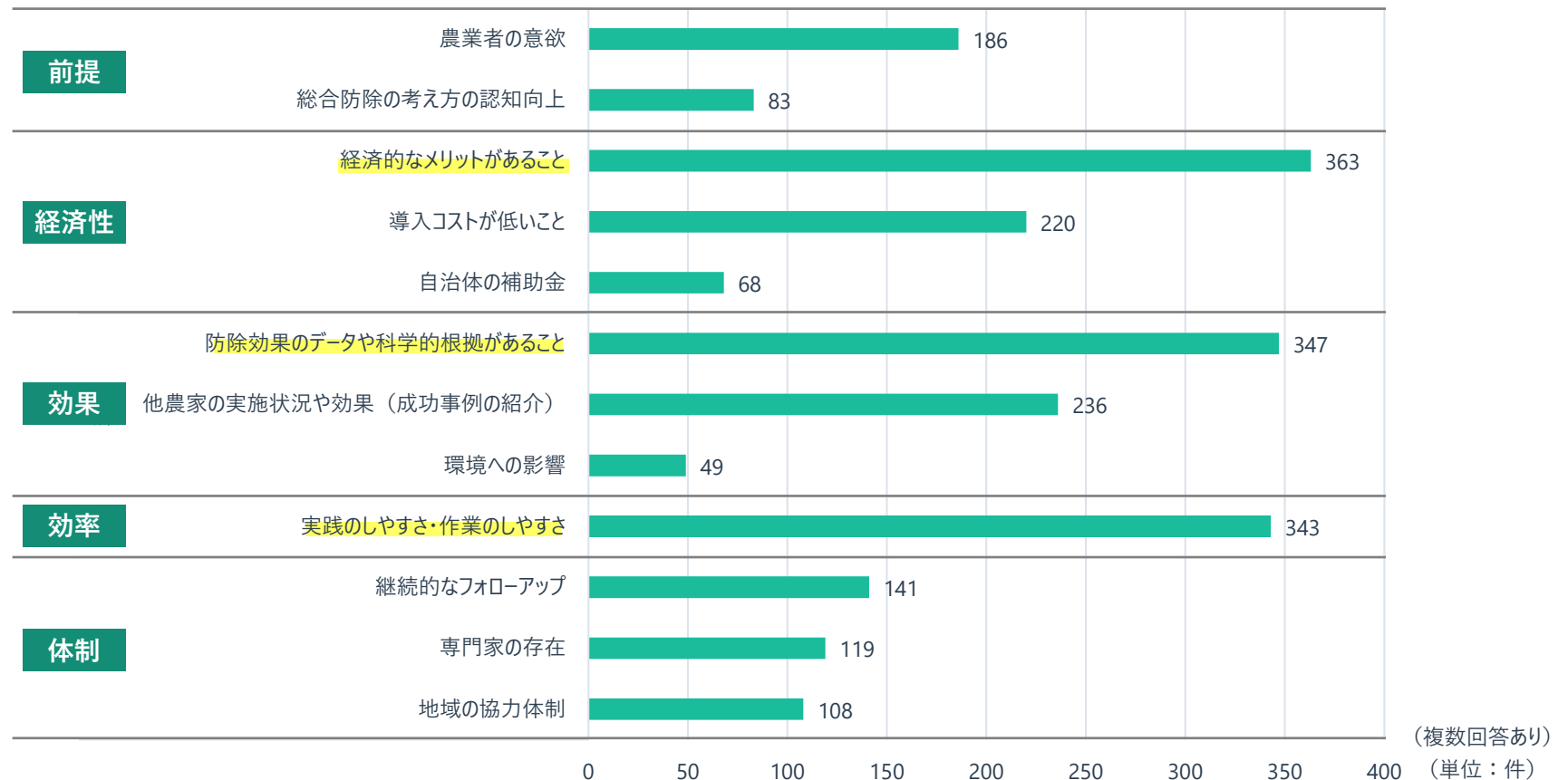
総合防除普及の際に連携した組織



普及のポイント

- 全国の普及指導員は、経済的なメリットや実践のしやすさ等が普及推進のポイントと考えています。

総合防除の普及推進のポイント



総合防除普及推進の実践方法 まとめ



農家が抱える
問題

認知・理解醸成

総合防除そのものや、
必要性の理解不足

防除技術導入の判断

導入の判断がつかない

導入の判断がついても
選べる対策がない

実行・評価

実施方法・振り返り方が
分からない



指導員としての
サポート

個別/集合研修を通して
総合防除の理解を醸成
➤参照 1章

■総合的な視点

- ・メリット/デメリットの提示 ➤参照 p80・81・82
- ・成功/失敗事例の紹介 ➤参照 2章,4章

防除効果の他にも様々なメリットがあることや、向き・不向き等の懸念点もあることを伝えましょう

■経済性

- ・費用対効果を示す
- ・労務削減効果を示す

導入コスト(費用)だけでなく、被害軽減による収益向上などの経済的効果もセットで伝えましょう

■適用可能性

- ・適用可能な作目、地域、栽培法を示す

■効果・効率

- ・防除効果・追加の手間も示す

防除効果を数値データや実証圃・展示圃で見える形にし、農家を実感できる工夫が大切です

新たな技術を随時紹介



国研・試験場・メーカー等
が新たな技術を
随時開発

■普及体制の整備・実行

- ・普及、行政、農業者団体、民間企業との連携
- ・実証圃、展示圃の活用

■継続的なフォローアップ

- ・すぐに相談に乗れる体制
- ・効果検証の補助
- ・営農管理ソフトの活用

技術的な課題に直面した際の、普及指導員の適切なサポートが農家の不安解消や防除の成功につながります